

建築一雜論

表町一〇九
 大倉冬馬和郎
 桂井三の妻ノ才
 十一月十三日
 仲通り 森尾
 為人ノ買書

萬年筆 原い帳百
 雑稿
 新夕

静岡市東藤匠町百〇八の五

若松町九十二野田大機

若松町
 建築ト藝術
 藝術トシテノ建築
 建築ノ外觀
 建築ノ美
 喜々建築ト美々建築
 建築ノ精神的實用
 建築史トハ何ゾヤ
 日本建築ノ發生
 日本建築ノ発達
 日本ノ神社
 神社ト佛寺
 日本住宅史
 支那建築ト日本建築
 印度建築史論
 印度建築ト回教建築
 回教建築論

田野二十
 田野二十

● 歴史地理

六月七日 後田登
 八日 朝大津着—
 九日 葛川登—大津着—阪本泊
 十日 敵山—牛尾親察—阪本泊
 十一日 阪本登—東福寺—東寺待親察—夜登
 十二日 東京着

笠岡吉内土大前矢内中 | 佐佐塚
 原田田益居江田橋田條 峯野本

高高野大大
 橋松田江熊

片岡
 矢橋—大塚

五月二十七日 立桂齋(大)
 七月九日 上棟齋(水)



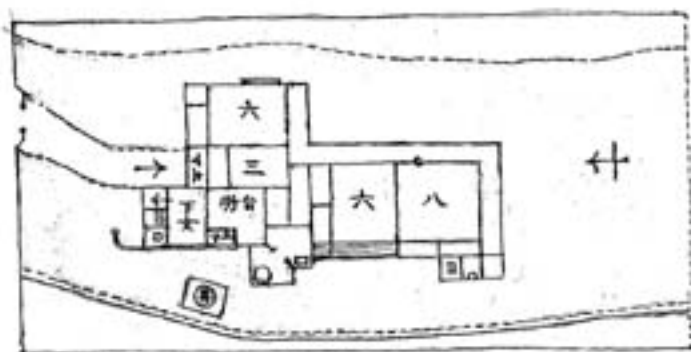
東京帝國大學
 文部省宗教司囑託
 内務省商洽神宮造營局
 神社司囑託
 造非宮使囑託
 朝鮮總督府 囑託
 東京府廳 囑託
 栃木省廳 囑託
 帝室博物館 學藝委員會
 早稲田大學 講師
 芝罘上寺 殿内
 武田神社 殿内

設計中

鶴岡八幡境内設計
 大倉野小田原別荘
 王子小野木氏邸
 中牟田氏 墳墓

關係學會
及雜誌
●八有會費

●建築學會
 建築世界社
 日本建築協會
 建築工藝協會
 建築新報社
 建築評論社
 日本美術協會
 日本美術社
 中央美術社
 國民美術協會
 研精美術
 美術新報
 美術旬報
 現代圖案
 東西畫報
 東洋時報
 東洋研究
 孔子學會
 教育時報
 早稲田文學
 帝國文學
 私書研究
 宗教學
 歷史地理



- 史學雜誌
住宅
- 人類學雜誌
- 考古學雜誌
- 米沢有為會雜誌
- 工學會
- 照明學會
- 上宮教會
- 史蹟考勝天然紀念物保存會
- 通俗學術講演會
- 能樂
- 神社協會
- 伊マ字雜誌
- 伊マ字マシーン
- 大民
- 寸鐵
- 東洋史話話會
- 六合會
- 友于會
- 重遠會
- 五々會

	学生	学生	学生	学生
土木	806			
機械	640			
船舶	167			
船舶	364			
道兵	81			
電氣	540	27		
建築	257	19(4)		
化学	365			
火薬	19			
工程	279			
探検	164			
冶金	47			
数学	26			

3749

(大正六年末)

又辰野 重福 × 中山 × 青木 渡辺
 野村 横河 野田 伊东
 長野 坂本 × 野口 大澤 武田
 櫻井 佐野 南野 引川
 合十九名 内死亡四名
 差引十五名 現在

明後朝
 土木 10
 機械 5-8
 電工 10
 船舶 6
 化学 10
 進兵 3
 探検 10
 建築 10
 火薬 1
 70.

大正八年末
 1000 朝鮮
 500 日光
 500 芝
 600 内務
 400 文部
 100 大学
 200 兵部
 500 大倉
 100 東京
 3900

田大石大矢佐内
 江井熊稿藤田

信

福

神身獲健	學位登極	碧空無雲	旭日熙熙	井口阪田	中沢高松	山川淺野	廣井古川	曾野佐野	寺野福田	大河内
										有阪



紙 少年講義小學少年画用

少年世界四、五、六

少年講義四、五

方眼紙 沢山 木一紙

小あち千本の

しやけ

オガシ旅行用



西ヶ地

文庫ニ白ク

支那黄塵ノ内大思ハレス、
全体ノ湖子、水丘樹、建第、橋、

建第ノ形アモ曲線モアモ塔亭樓
建第ノ名 夢勿的ー白石
極彩色

の幕の

二階新築

植木藏

一減
小学

六月号

運食用 七人ペイ 銀紙葉子
萬年筆 詩 紫歌 校歌
オレカン増 一
数の子
ロレンス



●小西天

呀在用途

年代

亭と仏殿

ソノ對比

本造ト競造一掃式と拱式

仏殿、鏡面、軒

軒、クレーハルト、ブルトク、神。

日本ノ亭子ヲヘキ点

支那建築ノ妙、愚ナラズ、

王衣紙図安未

▲乃能ヲ示ス

■日君ノ依彫ノ

欣然受活ノ

十年滞傳ノ内容ト共ニ改良

圖案ノ理未

獅子ヲ取りタルヲ百獸ノ王獅子吼の下

形ハ世界的ノ一▲宋孝國、コラス、

頭ニシテ印家ヲタド

アシラヒテの氣ハレレ目ノ印度

支那ノ姿勢、日本、

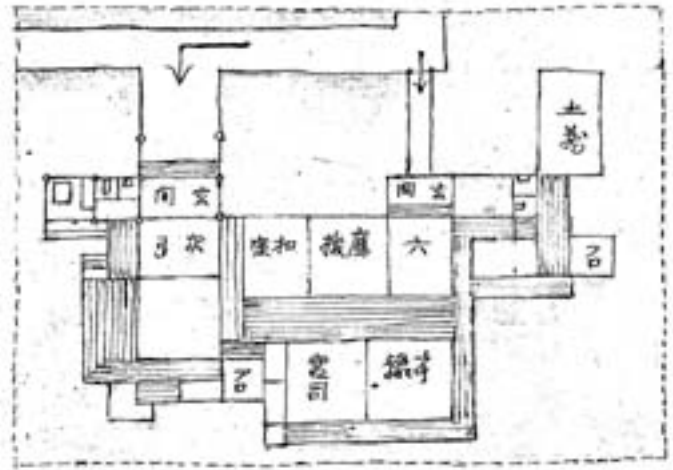
諸君ノ評ヲ宋ニ換手法ハ飛鳥時代

ヘタノ案ヲ望む。

314	猫乙意6ヲ高京延ス	2,5,7	四天王境殿宇三重又日大四天
467	宅大子所成子	7,1,17	
459	行平脱笠	8,4,27	
371	朱富系板頂江号全	7,8,16	
462	怪獸ウイウソ	8,4,30	
59	青鳥空中裁	3,4,15	
234	支那紛乱	6,2,7	宸恒港巻巻四
1	塞坡開戦	3,7,28	
331	聯合軍日本出兵ヲ希フ	7,3,5	

獅子
 仙院ノ設法ハ正初獅子ノ咆哮シテ群衆
 之畏怖セリ又獅子ノ威勢ヲ憚ラズ
 如シ獅子吼又獅子ノ吼聲長ク復シテ
 獅子ノ吼聲ハ長ク復シテ獅子ノ吼聲
 非シテ獅子ノ吼聲ハ長ク復シテ獅子ノ吼聲

標木山
 川平川磯山
 瀬戸赤ノ若港山
 清大紅赤三巻矢千大原
 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10



上杉神社設計監修費内訳

設計費		2,000
主任技師一人	180 × 35 =	6,200
助手	70 × 30 =	2,100
少	60 × 30 =	1,800
雇	50 × 30 =	1,500
タ	40 × 30 =	1,200
タ	30 × 30 =	900
タ	30 × 30 =	900
旅費	400	500
消耗費忙		750
顧問報酬		3,050
成金賞占		4,000
小使一人		500
年末賞与三ヶ月		1,200
		<u>24,650</u>

大正八年
七月中設計終
十一月完了
一月四百円
主任 250
助手 100
少 30
雇 20
大正九年四月竣工
大正十一年十月竣工



東海別荘

出羽の地

二 定義及分類

- ① 遺骸ヲ貯藏スル建築物
- ② 遺骸ヲ藏スル地点ニ立ツル標識物
- ③ 死者ノ冥ヲ入ル建築物—廟相
- ④ 死者ノ記念スル標識物—記念碑
- 廣義ニハ下ノ二ヲ加フ
- 形ニ從ヘバ

⊙ 地上

⊖ 地中

- 7 墳
- 8 冢
- 9 塔

1. Tomb
2. Cenotaph
3. Sepulchre
4. Mausoleum
5. 墓
6. 陵

三 实例の説明

- 一 日本 大ナリ皇太子ノ古墳多クシテ大ナルヲ撰造的ノモノナリ
- ニ 支那 陵ハ墓ヲ物ハ單簡ナルモ儀表ニ世限キテ大ニ豪華ナリ
- 三 印度 スワハ式
- 四 埃及
- 五 西亜 ピラミッド式、穴式、ライオン石
- 六 希臘
- 七 ローマ
- 八 ローマ スクアイトラチアチア
- 九 ヒンチン
- 十 サン

Plate

1	古塔	23	Juden, M... ..
2	印塔	24	...
3	五節塔	25	...
4	位碑形	26	...
5	宝塔	27	...
6	塔形塔	28	...
7	塔形塔	29	...
8	塔形塔	30	...
9	塔形塔	31	...
10	塔形塔	32	...
11	塔形塔	33	...
12	塔形塔	34	...
13	塔形塔	35	...
14	塔形塔	36	...
15	塔形塔	37	...
16	塔形塔	38	...
17	塔形塔	39	...
18	塔形塔	40	...
19	塔形塔	41	...
20	塔形塔	42	...
21	塔形塔	43	...
22	塔形塔	44	...
23	塔形塔	45	...

十一 コシク
 十二 サラヒン
 十三 ササシス
 十四 現代
 結論
 一 塔は巨大な建
 二 塔は不適當な我國の塔
 三 市街地に塔を禁物
 四 塔は限るコロンバリアの形地上地下ナレバ上ニ塔を
 五 コロンバリアの形地上地下ナレバ上ニ塔を
 六 地上ナレバ上ニ塔を
 七 塔は不適當な我國の塔
 八 塔は限るコロンバリアの形地上地下ナレバ上ニ塔を
 九 塔は不適當な我國の塔
 十 塔は限るコロンバリアの形地上地下ナレバ上ニ塔を
 十一 塔は不適當な我國の塔
 十二 塔は限るコロンバリアの形地上地下ナレバ上ニ塔を
 十三 塔は不適當な我國の塔
 十四 塔は限るコロンバリアの形地上地下ナレバ上ニ塔を
 十五 塔は不適當な我國の塔
 十六 塔は限るコロンバリアの形地上地下ナレバ上ニ塔を
 十七 塔は不適當な我國の塔
 十八 塔は限るコロンバリアの形地上地下ナレバ上ニ塔を
 十九 塔は不適當な我國の塔
 二十 塔は限るコロンバリアの形地上地下ナレバ上ニ塔を
 二十一 塔は不適當な我國の塔
 二十二 塔は限るコロンバリアの形地上地下ナレバ上ニ塔を
 二十三 塔は不適當な我國の塔
 二十四 塔は限るコロンバリアの形地上地下ナレバ上ニ塔を
 二十五 塔は不適當な我國の塔
 二十六 塔は限るコロンバリアの形地上地下ナレバ上ニ塔を
 二十七 塔は不適當な我國の塔
 二十八 塔は限るコロンバリアの形地上地下ナレバ上ニ塔を
 二十九 塔は不適當な我國の塔
 三十 塔は限るコロンバリアの形地上地下ナレバ上ニ塔を
 三十一 塔は不適當な我國の塔
 三十二 塔は限るコロンバリアの形地上地下ナレバ上ニ塔を
 三十三 塔は不適當な我國の塔
 三十四 塔は限るコロンバリアの形地上地下ナレバ上ニ塔を
 三十五 塔は不適當な我國の塔
 三十六 塔は限るコロンバリアの形地上地下ナレバ上ニ塔を
 三十七 塔は不適當な我國の塔
 三十八 塔は限るコロンバリアの形地上地下ナレバ上ニ塔を
 三十九 塔は不適當な我國の塔
 四十 塔は限るコロンバリアの形地上地下ナレバ上ニ塔を
 四十一 塔は不適當な我國の塔
 四十二 塔は限るコロンバリアの形地上地下ナレバ上ニ塔を
 四十三 塔は不適當な我國の塔
 四十四 塔は限るコロンバリアの形地上地下ナレバ上ニ塔を
 四十五 塔は不適當な我國の塔

日本 = 塔(塔) 大塔
 支那 = 儀的 (塔) 土塔
 仏教 = 塔(塔) 大塔 塔(塔) Monumental
 印度教 = Monumental 土
 埃及, 西亞 = Monumental 土
 希臘羅馬 = Monumental 土塔
 耶蘇教 = 寺堂内(塔) 土
 拜火教 = Tower of Soliman 火

中巻 新門題 487



三回同盟 488

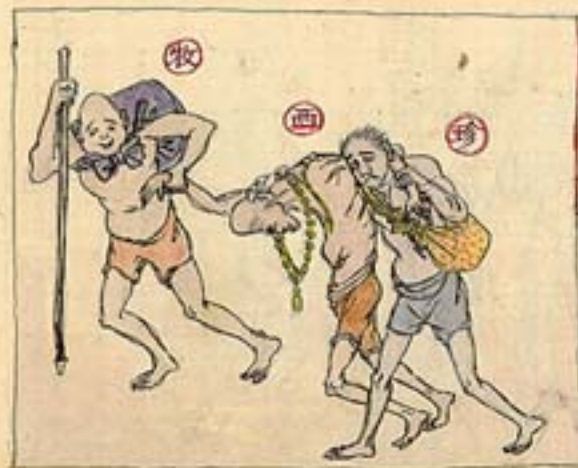
487 驚くべき物増騰貴
488 三国同盟
489 平和克復
490 使臣帰る



人の爲に法の説き得る者にして
火定を造る事其恥しむ



平和克復
489



使臣帰る
490

世界最大の面積
仁徳陵

世界最大のモツス

ピラミッド

世界最高僧の建築

日光廟二坪八万円

タイン二坪六万円

世界七奇の内ニツ

ピラミッド

ハリスルテシスのモーション

世界に於ける最變化多き形

世界に於ける最奥深き建築

十三陵一里以上、入口も奥院まで

柯源因

人の住居に對する感念

死者に對する感念

宗教的心情——大差アル証

建築の要問題ト云フ勿レ

居住の要問題ト云フ勿レ

建築の要問題ト云フ勿レ

建築の要問題ト云フ勿レ

建築の要問題ト云フ勿レ

建築の要問題ト云フ勿レ

建築の要問題ト云フ勿レ

建築の要問題ト云フ勿レ

建築の要問題ト云フ勿レ

建築の要問題ト云フ勿レ

建築の要問題ト云フ勿レ

建築の要問題ト云フ勿レ

建築の要問題ト云フ勿レ

建築の要問題ト云フ勿レ

墓の必要條件

- 一 屍ヲ納ルル設備
- 二 場カヲ表示スル設備
- 三 祭祀ヲ行ク設備
- 四 儀容ヲ示ス設備 (格差建物の)
- 一 三重キヲ置クモノ又ハ一ノモノヲモハ
- 石棺 (西洋キヲク時代)
- 土耳其式 (石柳)
- 二 土台ニ合成ハ普通ニ塚塔等
- 三 土籠アルモノハ
- 香灰花立、手水燈籠等
- 四 石人石獸、塙輪ノ類
- 墓ノ材料 (往純ト全ノ順序
- 始メ木 (ニ早ク進ミタラコレ永久
- 陶石 (保存ノ考メヨシ)
- 金屬
- コンクリート等

墓ノ裝飾

建築の動機

内 生活ノ必須ヨリ一住宅 (學校病院
 仕事ノ必須ヨリ一夜飯事務所工場
 娛樂ノ必須ヨリ一戲場競技場等

起 神ノ爲一社寺
 死者ノ爲一墓

起 重大子蹟ノ爲一紀念建築

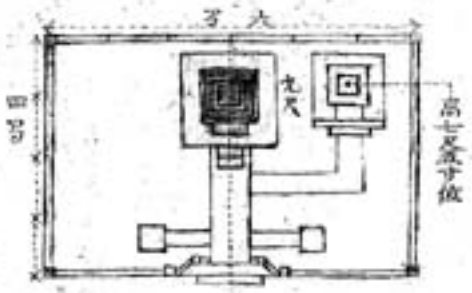
起 是の方面ニ於テ不測ナラハ愛ヲリ
 神ノ自然ノ偉大ナル恩沢ニ對シ敬慕敬
 祠ノ自然ノ不可解ナル神の威力ニ對スル畏怖
 埋骨肉ノ間ノ熱烈ナル愛着
 聖賢ノ聖賢ニ對スル追慕
 重大ナル成功ニ對スル一歡喜

起 天ニ格響ニ對スル一同情

起 此等ハ皆冥的建築ヲ産シ出ス動機ナ
 リ且而シテ茲ニハ中ニテ最モ普通ニ
 且ツ繼續的ニ起ルモノナリ

何トシテ人ハ必ス死シト死ニ同情近慕、
 愛着アレバアリ。

一死者ヲ悼ルルカ故ニ密封ニテホツ
 又ヲ鎮ルル爲メ禁厭的ニ表石等ヲシ
 ヲルモノ
 一死者ヲ追悼ノ意ヨリ屍ヲ永原状
 ノままニ存セシメントスルモノ朽腐ヲ替ヘテリ
 一死者ノ又再ニ屍ニ歸ルカ、又ハ他ノ冥床
 リ宿ルル故ニ屍ヲ大切ニ保存スヘト考
 へテリ
 一死ハ汚レルモノ故ニ之ヲ棄テハレトスルモノ
 一死ハ死ニテハ元ノ京に歸ルカ、コレヲ處ガレテ
 元素ニ歸セシムヘシトスルモノ
 一死ニシテハ万々休ムニ自然ニ去ラヌ
 一死ニテ野ニ棄テルモノ或ハ樹ニ引キカケ
 鐵（正モ）からふた焼くか埋るふ野（正モ）に棄て
 鐵（正モ）たる大の膽を肥セト
 故ニ墓ノアル場合とち異場合アリ
 葬式ノ種類
 土、火、水、風



百科 アンナン

材料構造に於ても様式は於ても
 安南は由來支那の國感化の下に成り立つた國である。その文字は漢字であり、その風俗も漢風であり、其政体も漢式に則り、其宗教も主として儒教及び道教であり、安南固有の湿祠か之を混在して居る。斯の如き状態であるから其建築も亦大抵て△支那系に属す。余は其自明である。李朝の古都大南城、今の東京の首府河内の西郊であるが、其の地から發見せる古瓦を以て殆んど全く支那の唐代の型式に田九のを見れば、其半は過ぐるものがある。眞貨版は湯内に於ける近代建築の好例で、支那即ち孔子を祭る廟宇の（ある主文門の前面である）一見支那趣味の顯著なるを看取するが、出奔する者殆んど全然支那建築であること云ひ、併し何處までも逆の支那建築を見れば、其情亦ありある五分もあつて、その態度は、はやに西洋の如き其の趣味も窺はれる。亦れは

安南の固有の趣味と云ふより、其矢張り印度乃至後印度地方に於て居るもの、の態度の感化された結果と見る方が安通であると思ふ。

装折は控て右も特殊あるは殆ど市中柱上、冠ころ一彫形である。此は四の風が四彫に立、此は一つの鐘つた輪廓とある。この装折はよく分るが、唯れは印度の「スタンパー」の密接の關係があり、又支那の事表との關係も認、説又その門は見へないが、置換の疑は固あつて居る。これは一見支那の装折と見分るが、其が突は瓜哇や東蒲茶も多し、現れは居る。装折の出たもので、その特徴は、要するに大抵は於て支那趣味の建築であるが、安南建築の分り度、の気分が薄く、其を印度固有の装折手法が見へる。其常々面白く、即ち安南の地理的人種的及外交史的關係の概證と見ることも出来るのである。半円形の月を嵌めて居るものである。

諸假設物工費
 建築物工費
 圍欄塙及門
 壁帳
 屏力々堂
 祭壇
 電氣一給水
 暖房一換氣
 傳給子當及諸給与
 雜費
 予務明費
 雜費

七万円
 五千円
 一万五千円
 一万円

芝場建築子務明規宛

一職員
 所長
 長
 兼向
 技師
 技師
 技師

石黒 忠徳
 大倉 久栄馬
 廣田 宗一
 門野 重光
 田尾 福次郎
 伊東 忠太
 若干 名

技手 五名
 雇員 若干名
 子務員
 會計掛 若干名
 廣務掛 若干名

製図掛 二五
 設計掛 二三
 現場掛 二六

1 建物取掛
 2 道路取
 3 地手地
 4 排水
 5 五名
 6 庭園
 若干
 製図掛
 設計掛
 現場掛

二 工費

1 敷地整理費
 2 敷地確保費
 3 設備及設備費
 4 子務明費
 合 百万円

三 年度例

18年度	100,000
19年度	100,000
20年度	100,000
21年度	100,000
22年度	100,000
23年度	100,000
24年度	100,000
25年度	100,000

④ 工事方法

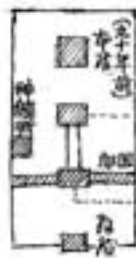
大倉組ニ施エテ秀柁スルヲ

知立神社 多宝塔

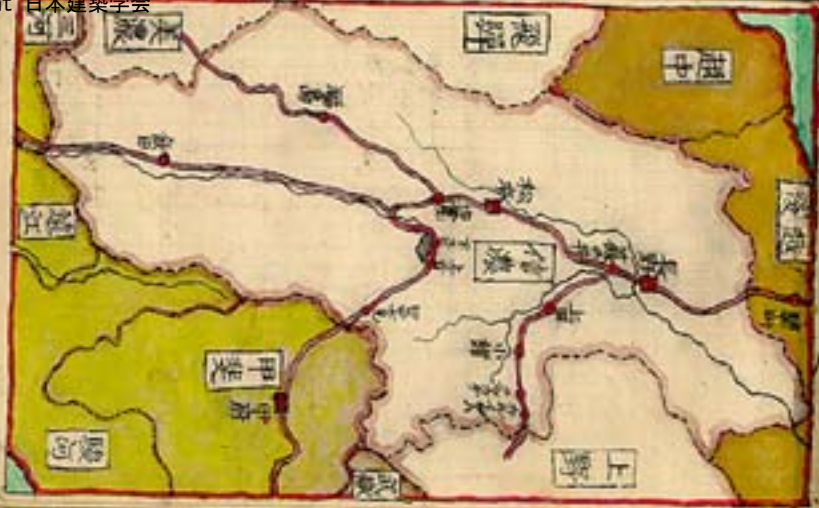


多宝塔 足利末
 上層入母のこまを
 棟と改ムルニ
 (神ノ改ムルニ)

生禱 舞臺 (千早境)
 臺文庫 (明治三四年)

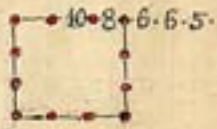
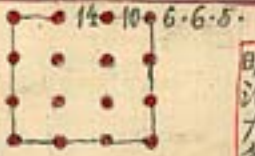


熱田ニ則ルト云フ

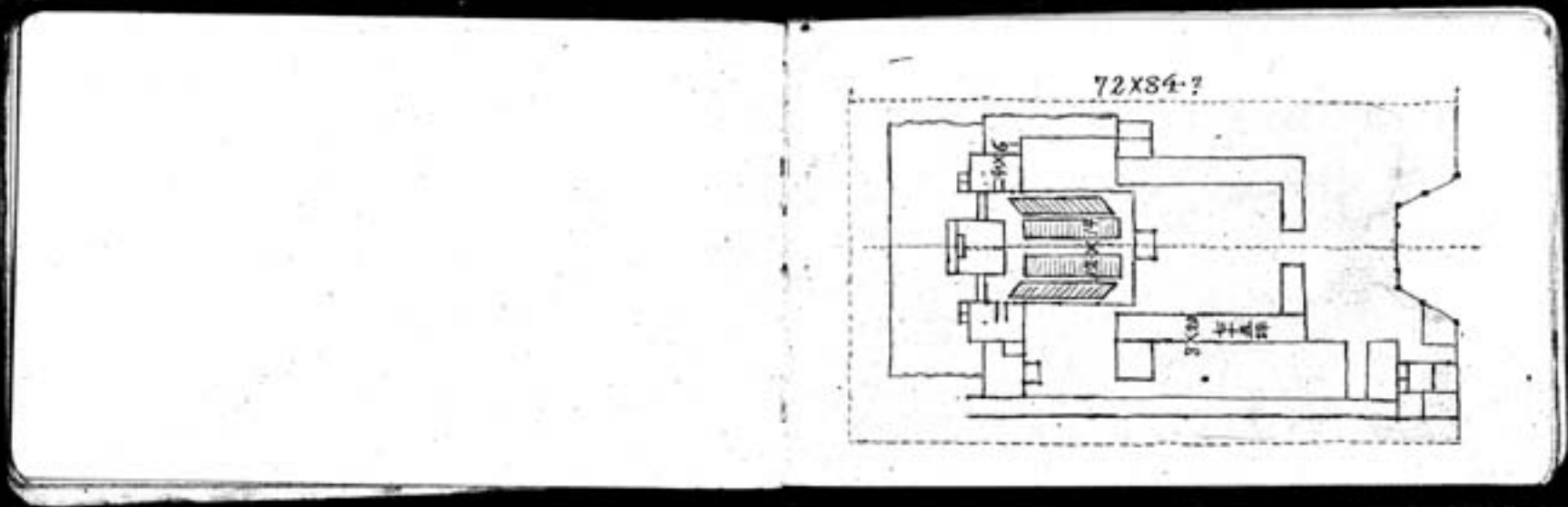


大法寺之三重塔

明治九年葺瓦ヲ加フ



其末、
 丸形下丸、増しあり、
 足利中期以後の葺瓦
 内部裝飾所ニ存、
 水煙美あり。



地勢地盤	一年平均湿度	一年平均湿度	一年平均湿度	一年平均湿度	一年平均湿度
京都	一年平均湿度	一年平均湿度	一年平均湿度	一年平均湿度	一年平均湿度
江戸	一年平均湿度	一年平均湿度	一年平均湿度	一年平均湿度	一年平均湿度
表情	木割	棟	屋根の形	壁の仕上	軒の出
温和	細く軽	薄く低	凸曲線	砂壁	深く三尺
粗野	鈍く重く	厚く高	直線	漆喰壁	浅く二五寸

廿之三田二丁目一番地
 葡萄地、尾深好生
 三之介
 工夕于エーム

建築は土地と離れず土地と調和スルヲ以テ美コトナリ。
土地は調和スル建築を得テ段々美を加フ
松島は福宮、金沢、和歌浦等皆然ナリ
皆海と山と建築物の調和あり
嚴島の苑中尤ナルモノナリ

況や嚴島の次の如き特とあつて、
實に日本才あり。



嚴島神社

一、引言

二、土地の狀態と建築

三、神社の歴史

四、神社建築

五、五重塔

六、千疊閣

七、多宝塔

八、本堂

九、海の中

十、おのり

十一、おのりの奇蹟

十二、おのりの大つと

十三、おのりの色

十四、おのりの美

十五、おのりの天

十六、おのりの地

土地美、偉大

海と山、関係

方位、配置

建築、意匠

元就、隆徳

道元、隆興

元弘、元徳

内容、特色

形式、構造

特色、意匠

千疊閣、おのり

五重塔、おのり

多宝塔、おのり

本堂、おのり

海の中、おのり

おのり、おのり

おのり、おのり

江

其

地

其

地

其

地

其

地

其

地

其

地

其

地

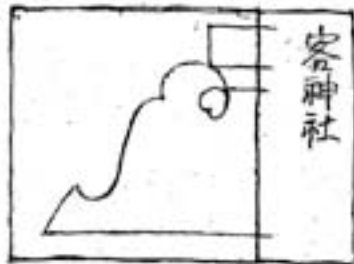
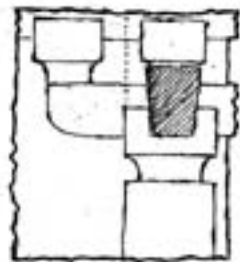
其

地

一、の子的かけふと人の布をかけるる
一、旦那のあけふと人の布を取ら洗ひ
落元の如くつけ置くる

一、小供のつし惣へ布買ふてきつり
るま(衾住の分及衾基若し承
するある)

一、奥標は昭は日晩頃、れく積りか
(八目)



客神社

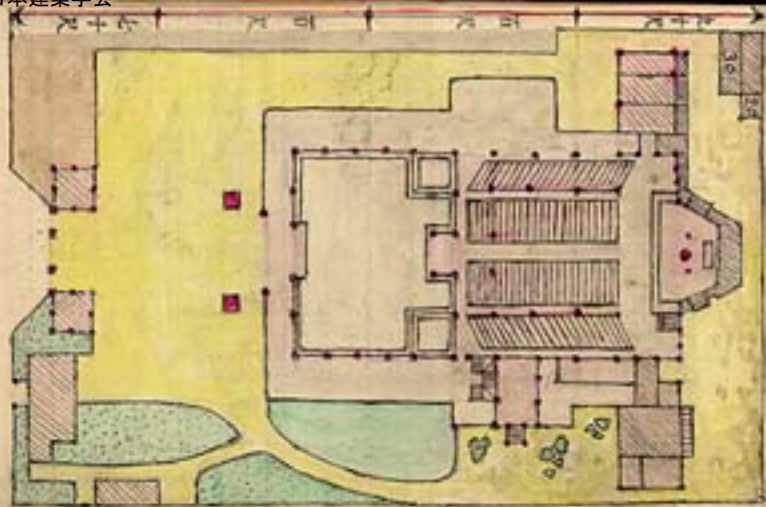
● 本殿カヘルマタ宇治上神社と全シ

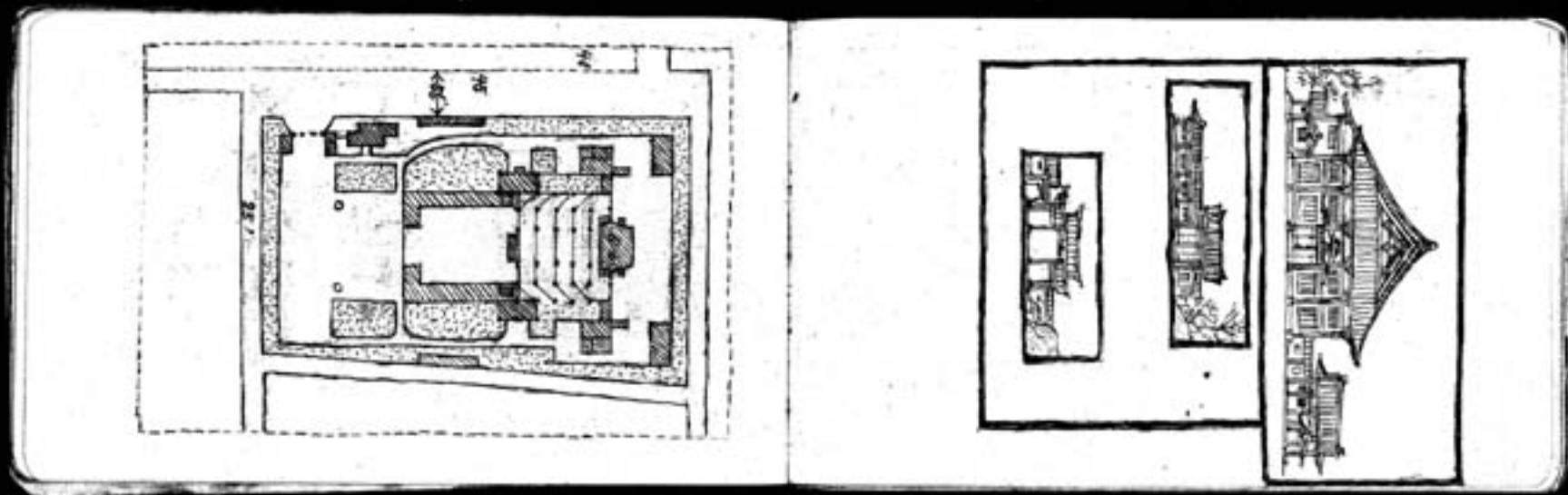
本殿カヘルマタ
二棟造

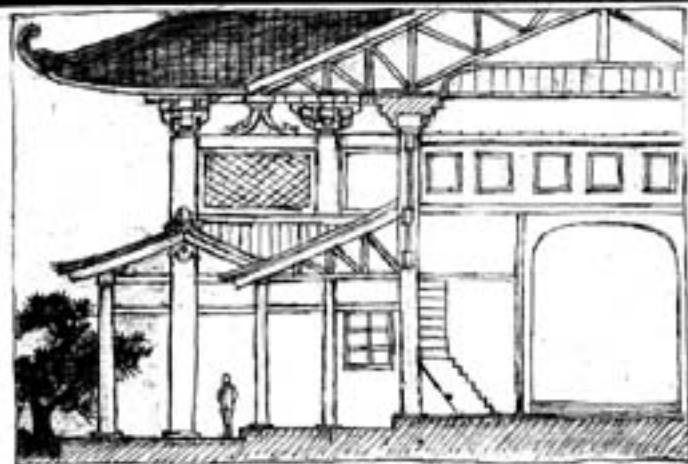
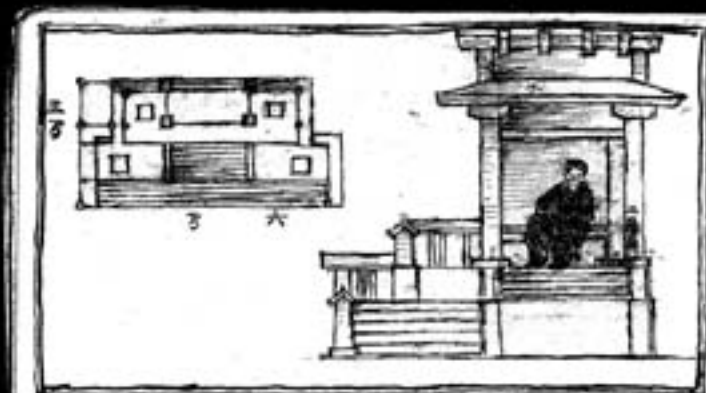
棟殿
エルマタ
鳳凰堂式

本殿カヘルマタ
棟殿カヘルマタ
二棟造

本殿カヘルマタ、棟殿カヘルマタ、
挿削ナシ









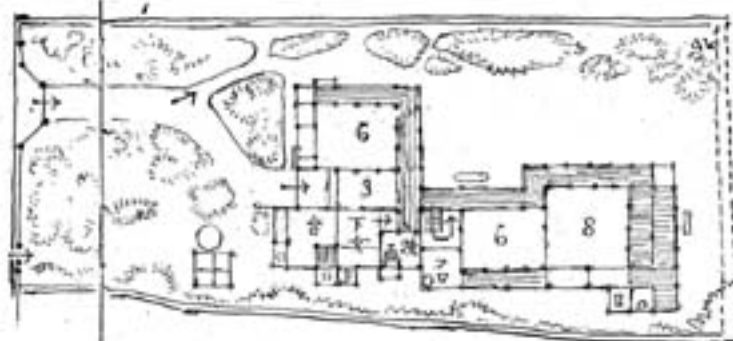
伊東	500	500	大正八年九月一日着台
佐々木	1000	1200	大正九年二月廿八日徴功
島木	600	600	三月三十日交附一六ヶ月百
田中	500	500	五十分一圓面
種上	?		六百分一敷地
種下			全体仕換立圓及彫面
消耗品及雜費	100		
	2700		52 為

仕指 三冊
 類是書 三冊
 豫算書 三冊
 Blue print 三通



經常-大學	3960
內4	2070
早稲田	600
家	300
臨時-日走	1000
日走	500
塘上寺	500
朝鮮	1000
文部	300
大學	100
誠?	200
大倉	1000
內總	600
	<hr/>
	72700





本國事は大斧に於て獅子である。國家
は各國で各種の形に於て用らる。狸は此
の常と面白ものがある。一も他の例を
多考ふ。若果考ふべし。即ち文に
因ハれるからである。本國事はこの意味
に於て余の獨創である。よるふて、
あいのも知れぬ。X

怪獸の音

元来又獸の空息

何ト云ふ動物ダキも大自字。野原、南嶺
ナドト云ふる道に、支那、國家家の勝手
ナラヌ

フア國ハ獅子根本トナリ

獅子ハ印度、天獸獅子也ト云フテ、コレニ

南ト雲フテ、亦ヘテカ能ク示シテ

古来其ノ如キ形ノ例ナシニ云フレ

寓意ハ言フ迄モナク、米沢人の大活動云

①長廣舌ハ舌丈ノ氣喘ヲ吹クハ、

②天ノ一方ヲ眺ムハ何カク眺ムル、宇宙ヲ睥睨

スルノ概ナリ

③其牙ハ以テ惡魔ヲ碎クヘモ、蟻魅

④其爪ヲ以テ踏

⑤其體大ク張ル九天上ニ飛ブト云フ、
其尾ヲ振ヘバ、

⑥其由ハ以テ、效細細ノ利ニヘテ、脚ヲこれ

⑦脚も、我有高會、又諸君ノ意ヲ見

⑧シンホ也である。

金華山明改三十二年有為者、創立リ金
てあり正に三千年、その百年、發展ハ
合の夏諸君絶へざる努力、由て見るべき
のがある。今や世界の第一劫、是にて新し
外二劫入る。秋は逢ひ余華半、依然トシテ
既往を顧み、將來を想ひ、懸念の芝居
眞劍の努力、以て新世界の舞臺は治
動する。決心を要する。であるから、
本會も亦時勢の終て一層の發展を
期す。いさよ不逞も、いさよ不逞も、
内容は既に古の者諸君は、拙作によりて
著し外、改訂された。よと、故時多、が、
依然として旧套を脱し、い。如何にも貧
弱の感がある。凡そ外觀内容は、在調和す
べきもので、ある。係らず、内容獨り、漸次に
改善せらる。水枝獨り、旧觀を改め、い。は、甚
お物足らぬ感がある。恰も友人嵐田、深
助君ハ其経路を、國釋印創術を、方法
よりて、難法の外、表を、創し、有る。合
凡そ附せんとも、提議せられ、長岡、忠著を
余に、手の、囑せられ、たのである。

△風は難法外、表の、振の、さるを、憶らす
思ひ、て、居た、野の、比、度、△

×山田君の希望を悦ぶ余の感志と共
鳴するものがある。快くこれを承諾して
同案作製を試みてある。これ余の最も
光栄とし、同時に会心又取手男の功であ
る。余は同案の馬子向家である。其巧
拙と成敗は未だ知らざる所である。
只余の考案の主意の存する所を一言
して諸君の諒承を得れば余の要望は
則ち足るのである。

有為會は④

×勿論獨創と云ふて中無かり有は生じ
ない余が今更に見たる多々の類例は
不知不識の團扇の中に見出して未
だは己を得たる大伴の婆勢の支那、
行いし獅子の形である。所謂狗犬の形
である。其鼻先ハフレリアの獅子の如
く居る。その舌を吐けるは支那の六朝の天
ら暗示を得た。獨角は支那の龍の
出た翼は西域及支那の六朝の獅子から
得た。尾の形は六朝及我が飛鳥時代
のから草から出た。其の文様は我が良

時代の空草花の轉化である。それハ生じ
斯の如き柄以上ある後、奇怪なる動
物を描き出して得意あるか如きハ甚だ
行々獅子の形である。~~~~~相大の
似て~~~~~其鼻先ハフレリアの獅子の
天の暗示を得。獨角は支那の龍の
出た翼は西域の支那の大朝の獅子から
得た。尾の形は六朝及我が飛鳥時代
のから草から出た。其の文様は我が良
時代の空草花の轉化である。

斯の如き柄以上ある徒に奇怪なる動
物を描き出して得意あるか如きは甚
た不都合である。非議せらるる人もある
べきが、余の信する處を以てすれば、此
直毛も差支ないかと思ふ。元末國樂
は何れも寫実を離れぬもの。支那の
無数に存在する、其獸鳥の如きは一
つとして奇怪あらざる。然しが、長い百
服に慣れて今では左もて奇怪とも思はな
い。木園案

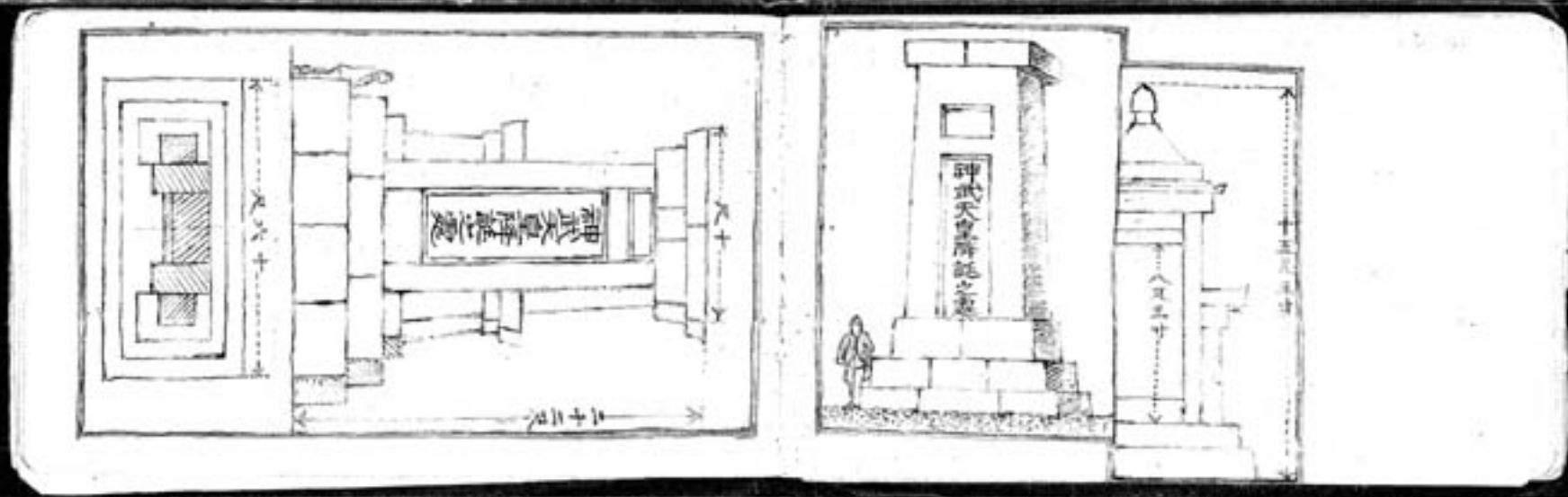
寫實と云ふ点から見れば奇怪一
あるの同然と云ふ点から見れば、小
も不潔であつて信するに足らぬ
何と云ふ動物ありやと問ふよとを、
止められ度い。

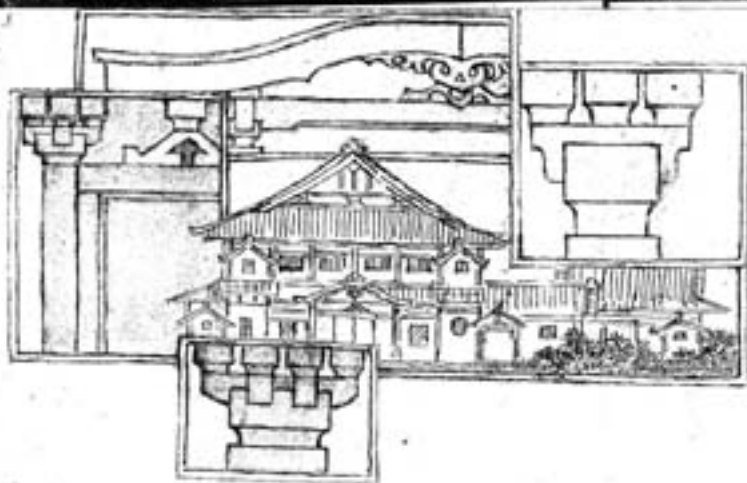
次に本圖案は何を意味せし居るか
を一言に度かすれば、實は右の者
諸君のシンボルの移りかへり、
勝る諸君のシンボルを控へて種
徳の外装を公表する、其の潜徳で
あつたが知れぬが、是は諸君の寛
恕を乞ひ、少しく之を後明とて見せ
しと思ふ。

外は獅子を根んたのは諸君の然
知すらるゝ通りゆ慮を於て正義の道で
道徳するべきを獅子吼と云ふ

即ち諸君が本雜誌上に促されこの
論を吐き、正義公道を説かざらばと云
ふは、其のたうである。

貴誌とある紙面を汚し恐懼措く可
き知らず多罪多罪 (一)





○寛文拾ヲスル

○縁起ヲレト云ヲ勿レ

○人生アリ誰カ死ナカラシ

○人生ノ者ノ住宅ニ死ノガリヲ正

○商人最モ好ミ略ヨリ生ノ為ノ積同ニ夏ノ死ニ

○願ニケルハ理ノ放テ可クモ前情ハ之ヲ許サス

○公卿ノ為メ生ヨリ大切トモ英雄ノ傳今宗邦

○ニシテ念ハカク起ルベレトモ是ヲ為ル所

○住宅ハ理ノ大辨ヲ言ハ蓋ハ此モモル情

○公理ハ理極スを明アリ情際渾ナレ

○住宅小居ヨリ王侯ノ宮中マテ規模ノ大小

○設備ノ完否外觀ノ美醜アルモ要リテ方針

○ナリテモ差トナラ

○宅基ノ規模設備外觀テ方針ニテモ其

○間隔無辺ト大ナリ

○仁徳陵ヲ見スナキ西五百百南北四百五十

○年十二萬坪アリ如キ建築亦他トアリテ

○世界オナリ

○今キヒテ見ツルハ此白ノ大運石ノ空ニテ殿後

○三費合八年ノ功積ニテ三億円ノ今日少クモ

○五億円影ノ如キ高侯ノ建テ亦他トモナリヤ

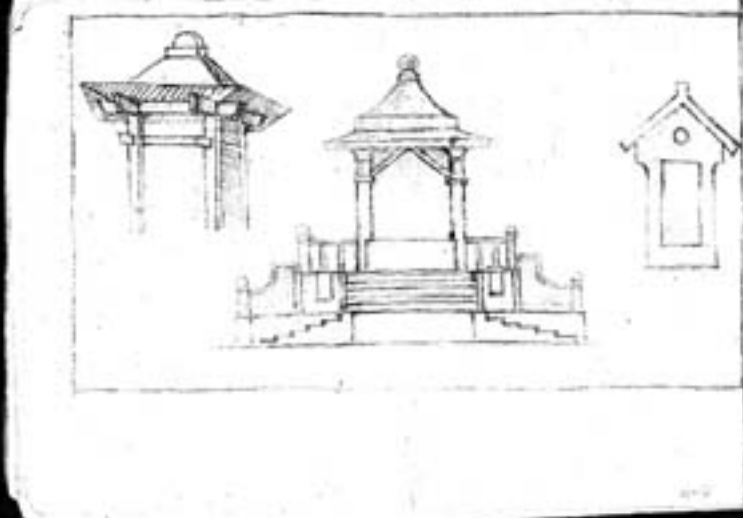
○一日光ヲ見ラレツテ總坪八百四十坪ニテ七八年

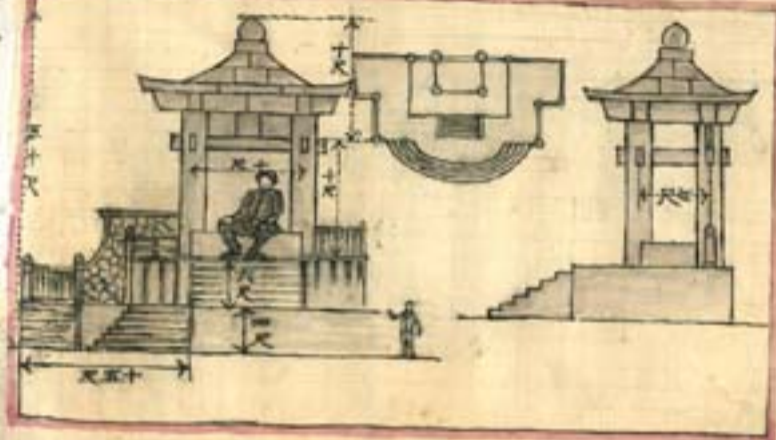
○前見積ニ千方内ノ今四百千方内ノ宅屋ノ

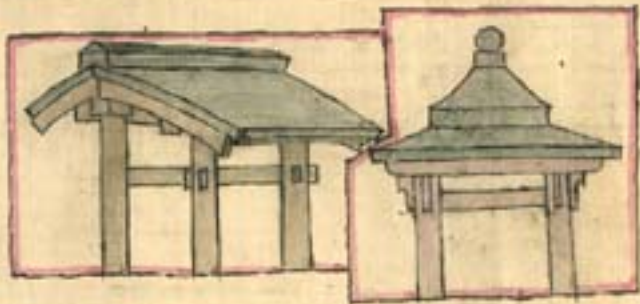
○内除如十八坪ニ千方内ノ宅屋ノ今五百坪ノ如

○キ勢ノ如キ建築アリヤ

十四、埃及の壁ヲ五百四十里、
 高四百八十丈、シテ、建シテ、
 七、一、
 十五、明陵ハ入口ノ碑、橋ヨリ、
 十六、古世果七奇ノ稱アリ、
 十七、
 十八、
 十九、
 二十、
 二十一、







九月	11	9時中野 午後代々木 ... (別紙Plan) 通信寺田へ田中へ
	12	大空(墓ノ材料) — (葬儀場) 坂急へ。
	13	早稲田 — 3.40 乗運500
	14	場迄
	15	六空 — (墓ノ材料)
	16	30 — (墓ノ材料) (大倉組へ) 田中直造へ
	17	30
	18	30
	19	30
	20	早稲田 — 乗...
	21	
	22	
	23	
	24	
	25	
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	

一 人死スルヲ特級腐敗ニ懸念ヲ呈スル美人ハ
 英雄ニ無名トナル
 二 コノ有様ヲ見ルニ心ミテ、コノ形トナレル前ニ
 屍ヲ遺カスルヲ考フルハ其然ナリ
 三 之ヲ土に埋メルヲ焼ケル水ヲ洗フカ、山奥ニ棄
 テルガ、
 四 土葬火葬水葬風葬瓜葬ノ名ヲスル慶支那ノ
 功元素ニ歸ルノ説ナリ、
 五 元来有様ヲ忌ミテ鳥ノ喰ハシ法ハハルニ、此ノ
 門ニあり又屍ヲ粉末ニシテ喰フノ風西域ニ云ハ
 レ、コレ等ノ本可倒ト屬ス
 六 何レシテモ人ハ死テ直分スルヲ葬ニ根本ト
 ナル
 七 その處分法モ宗教的考ニヨリテ色々ナル、
 埃及の如ク又魂再ニ屍ニ歸ルト云フ考(日)
 屍ヲ貯テ云々ノ意味ヲ以テ堅牢ニ墓ヲ作
 ルアリ、
 死者ヲ葬ルニ風アルモ、(屍ヲ) 深ニ埋メ之ヲ親
 人ノ風アルヲ指シマシ、(掘) 置ク、
 死者ヲ尊敬スルヲ杜クモ、(作) 爲墓ニ
 ヲリ美ヲ示ルヲ作ル(體)
 死者ヲ冷視スルモ、(人) 單ニ低クシテ作ル
 用樹木自分高昇、(器) 之程度ト死者ニ對
 スル情ノ厚薄、(趣) 味ノ如何ニヨリテ墓ノ形
 色区々トナル、
 又土地ノ状態モ關係シ来ル、
 ⑧ 被ニ墓(各) 國或シ文化ノ程及、宗教心土地
 ノ状況材料当人ノ身分貧富等子

よりて各異あり申すべし一掃して論
じ難くその分類も頗る複雑なる
と。

◎才三章 墓の分類

一、墓の定義

漢字ノ墓ハ
日本語ニハウノ意ハ不詳ハテカあるト
云ふ信シ難シ。

○分類方法形式

- 一、人工ノ塚ヲ築クモノ
- 二、墓標を立つるモノ
- 三、地中ノ窟を作らるモノ
- 四、建造物を建てるモノ
- 五、棺を露出安置スルモノ

○内容

- 一、屍のあり、二、埋葬として、三、焼く習俗として
- 四、建造物ヲ建ルモノ
- 五、棺ヲ露出安置するモノ

○内容

- 一、五像を、二、位所を、三、天塚ヲ遺品

き。

○誰の墓

- 一、人、二、動物、三、文字

○設備

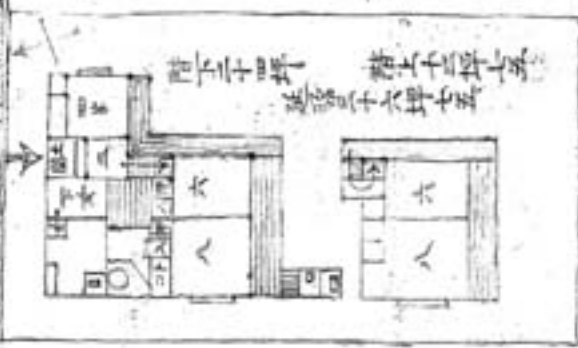
- 一、屍ヲ入ル設備 柩桁
- 二、表示ノ設備 墓標
- 三、祭祀ノ設備 手水、五具足等
- 四、儀表ノ設備 石人石獸等

◎材料(拾遺木)

恒久的モノ、一、クモ華ノ一、故ノ難カ故ナラ
ズ、恒久ノ生ハ難シ

- 一、土
- 二、石
- 三、金屬
- 四、人工材料、煉瓦、陶器、コンクリート

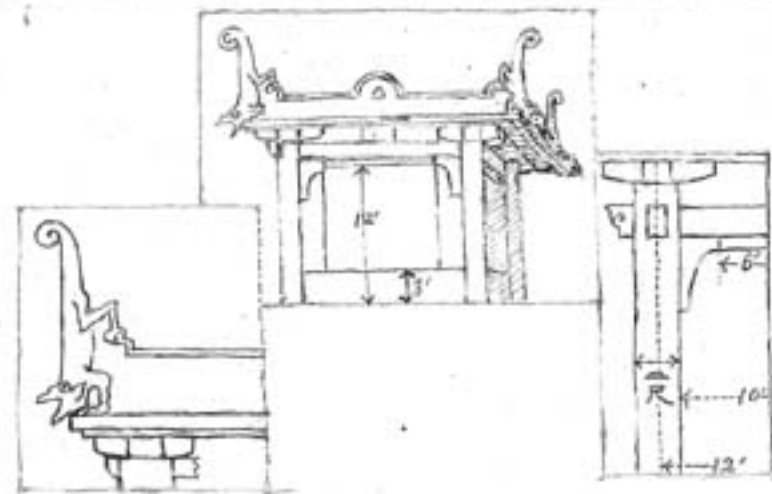
一 建築とは何く定義し美飾か否
 二 建築史とは何
 三 何の爲に建築史—無用論
 四 如何にして研究すも
 五 今日の建築史知識の程度
 六 建築史の目的



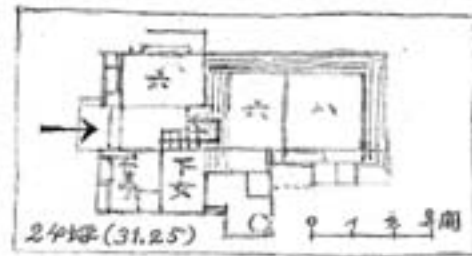
一 六ヶ敷敷に限らず、洋風を以て説明せしむる者あり、今やその意を、範圍を、
 二 美術的—「斜」—彫刻的画と違ふ
 三 北美術的—建築記
 四 サイエンスの基礎—
 五 万能の知識—分業ニシテ傾向
 六 建築史の必要—
 七 建築史の分類—
 八 建築史の整理—
 九 建築史の整理—
 十 建築史の整理—
 十一 建築史の整理—
 十二 建築史の整理—
 十三 建築史の整理—
 十四 建築史の整理—
 十五 建築史の整理—
 十六 建築史の整理—
 十七 建築史の整理—
 十八 建築史の整理—
 十九 建築史の整理—
 二十 建築史の整理—

一 建築史の整理—
 二 建築史の整理—
 三 建築史の整理—
 四 建築史の整理—
 五 建築史の整理—
 六 建築史の整理—
 七 建築史の整理—
 八 建築史の整理—
 九 建築史の整理—
 十 建築史の整理—
 十一 建築史の整理—
 十二 建築史の整理—
 十三 建築史の整理—
 十四 建築史の整理—
 十五 建築史の整理—
 十六 建築史の整理—
 十七 建築史の整理—
 十八 建築史の整理—
 十九 建築史の整理—
 二十 建築史の整理—

一 建築史の整理—
 二 建築史の整理—
 三 建築史の整理—
 四 建築史の整理—
 五 建築史の整理—
 六 建築史の整理—
 七 建築史の整理—
 八 建築史の整理—
 九 建築史の整理—
 十 建築史の整理—
 十一 建築史の整理—
 十二 建築史の整理—
 十三 建築史の整理—
 十四 建築史の整理—
 十五 建築史の整理—
 十六 建築史の整理—
 十七 建築史の整理—
 十八 建築史の整理—
 十九 建築史の整理—
 二十 建築史の整理—







(八) 埃及 (二、四、四)
ヒラミッド、マスタバ、ケオプス

(九) 西亜 (二、三、四)

獅太 (五、キ、ア、リ、キ、ア)

(十) フリジア (一、二、四)

巨石、窟

(十一) 希臘 (二、五、四)

ヘラスキ、塚、棺、小碑

(十二) (一、二、三、四)

灰土、塚、窟

(十三) ローマ (一、二、四、四)

塚 (ハリアン、ミラバド、タラス、地下)

(十四) 初期基督 (一、三、四)

棺、堂

(十五) ローマチスク (一、二、六、四)

堂、棺、小碑

(十六) ビザンチン (一、二、三、四)

(十七) ゴート式 (一、二、四、四)

(十八) ルネサンス (一、二、三、四)

(十九) 現代 (三、三、三、二、四)

合計三十五、シート百十九図

波斯、一プレート 二四

回教、一プレート 四四

(埃及一サルカド、小碑一棺)

二十七枚 百二十五図

墓室結論

一、種類多キ知ルヘシザ人、如何ニ葬式ヲ如何ニ墓ヲ作ル。人々の勝手

二、世ノ趨勢ハ市街地ニテハ土地ノ制限衛生上、ヨク火葬トシ、灰ヲヨクバククムニシ

三、貯フ風ナリ、一家累代ニテ閉々々、墓標ハ立ワ。

四、地下地上共ニ可アリズ。

五、死ニ對スル感想ノ變化、徒ニ悲シムナ三年表ノ如キ愚習、陽氣ナレ、墓

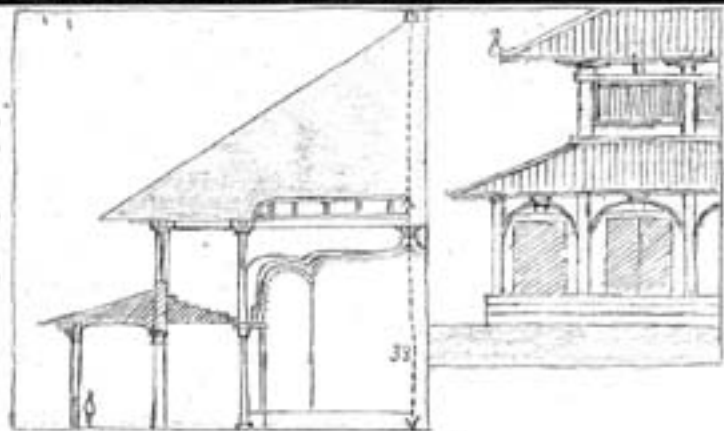
モ陽氣ナリ、意匠ヲ悉クスヘシ、只シルシ、式ケル尾上云フ、勿レ楯大ナル人ナル備ケル

墓風流ナ人は風流ナ墓高麗ノ墓ハ
 馬鹿ト云ふ勿シ耶。墓ヲ藝術永ク建
 築界ノ一分野ヲ占むル。建築ノ一科
 目トシテ考テベシ思ふ。△として尤ウ
 趣味多きものトある。現代獨乙の例を
 見よ。如何に心地よき感あるか。日本
 の实例は千造一律突に「まらぬ」に非
 るや。仮令古代の如き墓は今日日
 時勢に於て許さぬ。此も亦は意匠を
 悉く餘地多かるべし。

六 大車はコランバリウムの中竹節釣スレハ一
 坪の大エチニ三十の柵を作るべし。十
 年毎に死者を出すとすもの。ふ不ニ
 三百年間保つべし。併し死を焼くは忍
 びろと云ふ人もあるが、死に對する考
 を修めよ。

甲賀郡 石部町

お社吉御子祓社

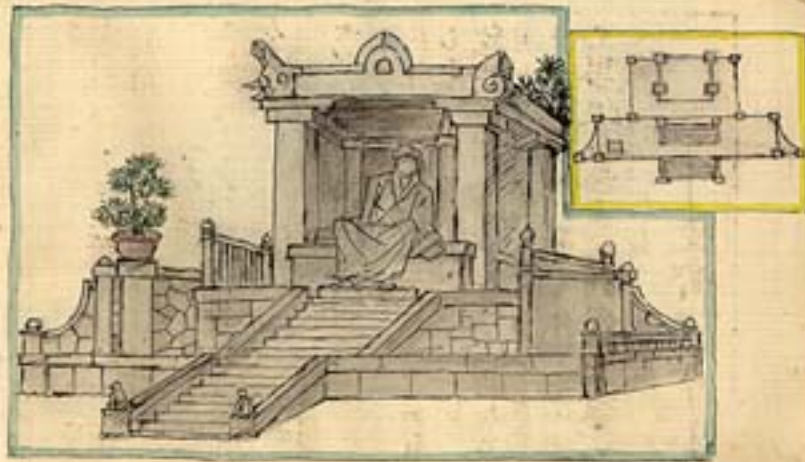


鮮緑の山深藍の水、丹塗朱樞の長、
 痛滯積りの社殿その間には
 輪輿ノ美再び整ひ
 復た備はる。

平相国よのお殿を再興してそのり
 年を固むること七百、一、一、年神威年
 と共にいせふりと虽多材は好に枋損
 せんとし色は漸く褪せんとす

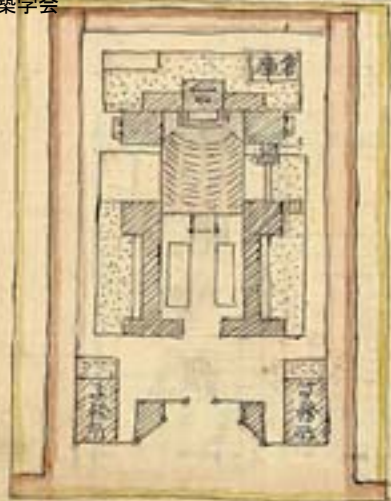
由て以て国民崇教の念を發揚せ
 しむるに得んが、国家
 我國偉の精華を顯揚し国民の
 思想を善道すするに於て其効
 果著しきものあるを信す、本日
 工事後功奉先の祭典に臨み敬
 く敬く茲に祝詞を呈す。

文部大臣



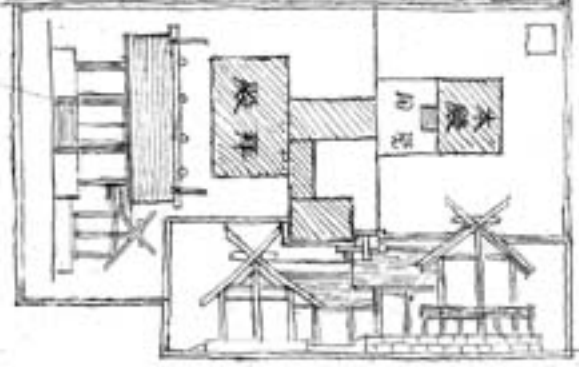


製作費	600
経費	50
陸運賃	50
地形	50
組立	50
	<hr/>
	800



米國自由新聞社刊

祭曲ノ時救使 以下幄舎内ニ坐スルカ腰カケルカ
拜殿ノ内ニ入ラズカ
玉串ハ何處ニ捧ルカ



神社建築

- 一、社殿ノ体裁
 - 一、境内ノ体裁
 - 二、建築ノ様式一装束
 - 三、各宇ノ配置
- 二、奉祝ノ便利
 - 一、各宇ノ関係一種類
 - 二、各宇ノ設備
 - 三、
- 三、参拜ノ便利
 - 一、参道表裏ノ小路
 - 二、設備ノ休息使可燈明

一三、二四の押音

Nadera Yamakata	(ナダラ山カト)
Natobati Mukute	(ナトバチムクテ)
Sorade Yonegawa	(ソラデヨネガワ)
Nito Sarake	(ニトサラケ)



$d=2.40$ = 一平代 } 長各十尺の代價、差如何
 $d=20.6$ = 一平代 }

小年級 二名抄書

1. Nonosca Skutsu
 2. Jusan Nanatssu
 Madadssu
 3. Wakaina
 4. Anakowu Unde
 5. Nonotowu Unde
 6. Baroni Sakushu
 7. Omani Sakushu
 Ogiro Sakushu
 8. Akakami
 9. Ta Kaimi
 10. Ikiyano Unde
 Kozu Unde
 11. Subite
 Hironde
 Aburasho Kobasheta
 12. Sonollara Sakushu

Taredono
 Minna namete
 abmatta
 Sono imu Susita
 Talkoni Hatta

1. Plan 確定し、異変ナカ一道路水。
2. 敷地工事進行如何
3. 全付地、計画如何
4. 標準如何
5. 工程如何
6. 技術員如何
7. 木竹瓦葺り関連ナカ

二三四 伊勢

- 1. Mlatuto Yajiwa
Kaitano Mojizo
- ① Kimoto Bokutano
Sase Mukai

三四

- 1. Tateba Shakuyaku
Suwaraba Botan
Asumi Sugutama
Yurino Hana
- ②
- 2. Kanai Katugoro
Kusumani No Sete
- ③ Hakeya
Hakoneyama
Memigino Terumoi
Yosigo fura
- ④ Sake Samukaro
Tsumeta Kase

一三ノ押韻

1. Oshio Takasima
Oyotimo Naiza
④ Tomete Utsukutsu
Issya Made

3. Jokyū Jodoyukū
hamuriza Nokoku
④ nokoku Komuriza
Shakano Tana

2. Takai Yamakara
Tanisoko Mireba
④ Uchiya Nasubino
Hana Zakari

二三ノ押韻

1. Kimito Wakarete
matubara Yukaba
④ Matano Turyuyura
Sizuku Yara

一三ノ押韻

1. Nanimo Kujokuyo
Kawabata Yanagi
② migumo Nagareo
Mite Kurasu

一三ノ押韻

1. Ote usosya
Wakareno Tuxasa
② Ota Wakarega
Nakerya Yoi

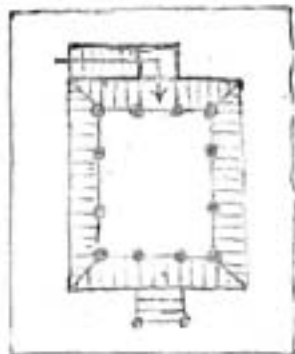
二四の押巻

1. Midoto Ynkumai ① Tangono Miyatin Sinnno Saifuga Karate Nasu	6. Saitu Sakurami Nage Komatumagu ① Komaga Isameba Hanaga Tereu
3. Sanzen Sekaina Karasuwo Kerosi ① Nasuta Asamega Eate Mitai	4. Marui Tamagomo Kosiyade Sek.....? ① Monono Jiyoda Kadaga Tatu
5. Takemi Sugumawa Sinayaku Tomate ① Watashi'a Rinkine Kiga Hawaze	6. Jyado ②
?	
②	

Baraxglycelin 50% 3% 10% (不明砂の割合)

一三四の押巻

1. Rikyu Ojara ② Jyohate Ojaral Rikyu Saiwara Kois' Wara	2. Hotoke yu:iga Nagareta Kudaca ② Sakono Hitaiga Sinda Yara
3. Tosawa Yoitoko ① Minamo Ukata Satuma Orosino Says Sagot	4 ③



一三四の押韻

1. Kotto sutalote Yakaroka Sadoc ③ Sadawa Sifugori Nawino de	2. Watashia Omami Honeyfimi Renaji ① Itono Itijawa Kane Lidai
3. Sakawa Teruteru Soyakana Kumoru ④ Hino Tutoyama Anega Furu	7.

自由平等論ノ考相
一、自由、平等、是れモ、共和主義ノ三原則ニ依リ、
共和主義ノ三原則ニ依リ、共和主義ノ三原則ニ依リ、共和主義ノ三原則ニ依リ、

自由平等論ノ考相
一、自由、平等、是れモ、共和主義ノ三原則ニ依リ、共和主義ノ三原則ニ依リ、共和主義ノ三原則ニ依リ、共和主義ノ三原則ニ依リ、共和主義ノ三原則ニ依リ、

精神的平等—言辭、自由平等

物質的平等—自由平等ノ分配
勤勞者ニ多ク息憚者ニ少ク
ハ当然

享保十年四月

内側舞臺下各段 2000 坪
 高家舞臺下各段 1500
 (70 俵以上 200 俵, 10 日以上) 200
 以下: 強斑列, 10 俵 4
 半内所勘番小管情世強斑列 200-100
 20 俵乃至 50 俵, 10 若斑列, 10 俵 4/100.

元禄

慶長 11. 7.	修堂		
元和 8. 11.	修堂		
寛永 14. 7.	改築	寛永 16.	焼失
徳治 10. 9.	再興	天明 3.	〃
弘化	造	天保 15.	〃
萬延	〃	安政 6.	〃
		文久 3.	〃

西丸

文禄 3.	創建		
寛永 1.	改造	寛永 11.	焼失
〃 13	〃		
慶安 3	〃	天保 7.	〃
天保	〃	嘉永 5.	〃
嘉永	〃	文久 3.	〃
元治	〃 (將軍居城+)	明治 6.	〃
嘉永 10 以後 経費節減 10 日 粗末 100			

文科	一年一期	三期
大西	80	72
星野	75	78

江戸時代大森石敷、敷地制限

石敷	坪数
300-500	500
1000-1700	700
2000-2700	1000
3000-4000	1500
5000-7000	1800
8000-7000	2300
10000-20000	2500
20000-30000	2700
30000-40000	3500
40000-50000	4500
50000-60000	5000
60000-70000	5500
70000-80000	6500
80000-100000	7000

天文三年七月

元禄六年八月	
内書院番内小姓組	500坪
町内番大仲番	400
小十人医師	300
小極人	200
町主衆	150

元禄十四年六月	
内書院番内小姓組	
1700石	700坪
1000	700
700	600
二百位	300
百五十位	200
内小姓町内番	500

二年一期 意匠 Classic 門及住宅

所要ノ室 家族天婦小児三人下婦一人

一 玄関 二帖又八三疊
 二 應接ノ室 四帖半又六疊
 三 二階 下
 四 二階 下
 五 二階 下
 六 小児室 八帖
 七 納戸 四帖半
 八 一寸辨室 三帖
 九 一風兄弟場
 一〇 一甚所 飯所

二〇 客召 八帖
 階三 次ノ室 二帖乃至六疊
 延坪 五十坪乃至六十坪

郊外日本風木造住宅

二年	備文	design
古田	75	65
田林	75	75
前小	70	70
足田	80	70
田川	84	75
五原	90	85
石河	85	85
上中		70
家江		71
橋本		65
森下		65
		70
		70

一年一期	二期	七月 80
岩槻	75	85 = 77.5
榎戸	72	95 = 85
上土	2	70 = 72.5
井上	70	76 = 84
井上	80	80 = 80
大内	75	80 = 77.5
大内	80	68 = 74
大内	80	86 = 80
大内	80	86 = 80
大内	86	78 = 80.5
大内	75	76 = 76.5
大内	75	80 = 77.5
大内	70	70 = 70
大内	90	90 = 90
大内	80	78 = 79
大内	85	78 = 81.5
大内	85	84 = 84.5
大内	77	66 = 72

各国警沈噸數(掃航船噸) 既存噸數對入割合

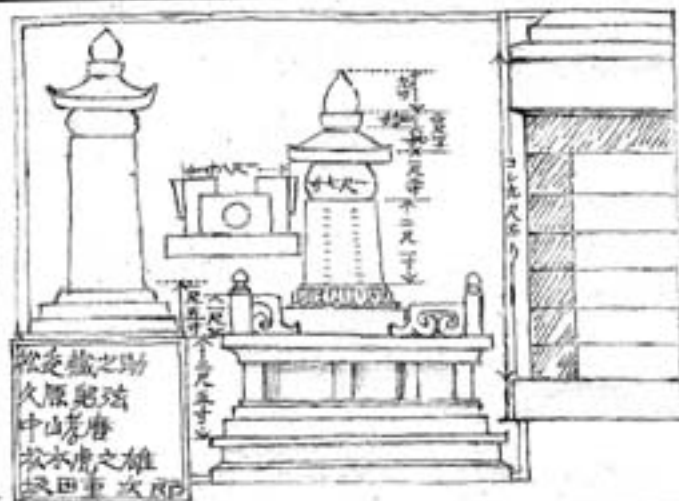
英	8670000	4.7
諾	1287000	5.0
佛	972000	4.2
伊	923000	6.0
米	613000	1.8
日	182000	1.7

奥野市次郎
黒瀬義門
不破秀磨
友村市左門
野口淳吉
安部幸兵衛

櫻園三郎
山内万寿海
小野光景
海野美監
浦田周次郎
酒井忠興

江藤直純
河瀬真孝
三井八郎次郎
岡本椿野
細川楓谷
三好成行

大西正雄
溝口直正
山下重成
明石元二郎
宮本淑叔
釈宗漢
寺内西銀
田中義成



松尾鐵之助
久原純造
中山孝春
松本虎之雄
坂田重次郎

三月一日以後の改定士 五月廿一日まで

成瀬仁藏	近藤利兵衛	奥宮嘉平	内田銀彌
福岡孝悌	上杉茂憲	小野田元繁	米井源次郎
三島弥太郎	竹田宮恒久王	藤大寺安則	南節孝一
山田隆一	翁島密	井下内了	木村警太郎
佐藤志津子	江浦功	井上友一	伊東敏太
角田真平	高木源二	原口兼清	緒方正規
福菜正徳	井戸泰	潮田友部	箕作元八
辰野金吾	吉原重長	江藤香敏	清水三貞
津軽英廣	諸井春旺	小川錦吉	趙重恵
岡井各二郎	渡辺圓武	保田榊木	銘方正清
永井徳子	三島孝文	江守襄吾郎	木村利紅門
楠木誠	久保志郎	須藤傳次郎	茶田家門
田村沖之甫	宮川敏次郎	板垣運助	
	山中橋次郎	和田隆三	
		赤松連城	

		大正六年	大正七年	大正八年
所得通知額及税額	通知額	41,222.	41,223.	56,377.
	一回納入額	41,670	300,910	
	税額	166,680	203,64	
	千分率	40+	49+	
	(備考)	大學 2100	2100	3960
	内務 2,600	2100	2040	
	早稲田 400	400	600	
		300	300	
		15	12	
		4618	4616	6902

大蔵省
増上寺
日光
華嚴場
古社
上野神社
保存

七月十四日（下）五十九回

七月十五日ヨツハ当方ヨリ外東ト行リ

七月二日ヨリ以後四月ニ一回レ割行来診

伊吹山徳司	仙頭武央	犬塚信太郎	杵山棟庵	白河勲洋	小島精太郎	小松原英太郎	片岡七郎	上野理一	井上仁郎	阿部興人	芳川顯三	三村君平	木多精一	瓜生一震	二宮基成
-------	------	-------	------	------	-------	--------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

馬大便通表 大矢年一

2	2.5	3	3.5	4	4.5	5	5.5	6	6.5	7	7.5	8	8.5	9	9.5	10	10.5	11	11.5	12	12.5	13	13.5	14	14.5	15	15.5	16	16.5	17	17.5	18	18.5	19	19.5	20	20.5	21	21.5	22	22.5	23	23.5	24	24.5	25	25.5	26	26.5	27	27.5	28	28.5	29	29.5	30	30.5	31	31.5	32	32.5	33	33.5	34	34.5	35	35.5	36	36.5	37	37.5	38	38.5	39	39.5	40	40.5	41	41.5	42	42.5	43	43.5	44	44.5	45	45.5	46	46.5	47	47.5	48	48.5	49	49.5	50	50.5	51	51.5	52	52.5	53	53.5	54	54.5	55	55.5	56	56.5	57	57.5	58	58.5	59	59.5	60	60.5	61	61.5	62	62.5	63	63.5	64	64.5	65	65.5	66	66.5	67	67.5	68	68.5	69	69.5	70	70.5	71	71.5	72	72.5	73	73.5	74	74.5	75	75.5	76	76.5	77	77.5	78	78.5	79	79.5	80	80.5	81	81.5	82	82.5	83	83.5	84	84.5	85	85.5	86	86.5	87	87.5	88	88.5	89	89.5	90	90.5	91	91.5	92	92.5	93	93.5	94	94.5	95	95.5	96	96.5	97	97.5	98	98.5	99	99.5	100
---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	-----

27
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50
51
52
53
54
55
56
57
58
59
60
61
62
63
64
65
66
67
68
69
70
71
72
73
74
75
76
77
78
79
80
81
82
83
84
85
86
87
88
89
90
91
92
93
94
95
96
97
98
99
100

明治34年1月以後31株

十月十一日 保存278700円

八月?成 補助200000円

茨城縣知事
力石 碓一郎

光澤株 選子着(産時)

7.00	8.29
7.45	9.14
8.15	9.36
9.45	11.13
11.10	12.38
12.10	1.36
12.50	2.18
14.30	2.58
2.55	4.24
3.40	5.18
4.35	6.02
5.20	6.47
5.45	7.13
6.25	7.53
7.15	8.43
8.35	10.03
9.35	11.43

選子株 採果着(産時)

(6.05	7.43)(2株)
6.40	8.07
7.05	8.24
7.53	9.16
8.37	10.10
9.24	10.55
11.24	12.53
1.35	3.05
(2.15	4.05) 豊福町
3.01	4.30
3.40	5.05
4.18	5.45
4.56	6.20
(5.18	6.55) 米原町
(5.45	7.18) 岡内津町
6.18	7.42
6.47	8.15
7.45	8.15
7.15	10.12
10.00	11.30

晚翠軒
 堀田和彦 西

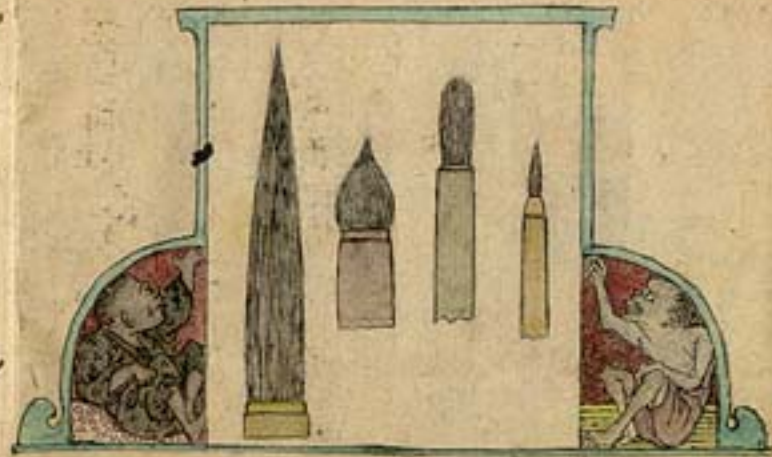
宣
 昌
 親
 王子
 右側

70

大溝堂再調査
 大工人主
 監督須屋根

地主一部(四千四
 位 完了後
 米春)

天皇神社金部(四千五百四)



建築一雜論